

2025年への対応方針

【2019年改訂版】

1. 基本情報

【2019年 10月時点】

医療機関名	医療法人 済恵会 須藤病院
所在地	群馬県安中市安中3532-5
沿革	昭和54年に30床にて、医療法人済恵会 須藤病院開設 昭和60年に40床、昭和63年に60床へと増床 平成7年老人保健施設開設に伴い、50床へ減少 平成9年病床整備計画により5床増床し、55床へ 平成12年療養型病床群開設 20床増床し、75床へ 平成20年病院新築移転 20床増床（一般病棟68床・療養病床27床）95床へ 平成28年25床増床（一般病棟48床・回復期リハビリテーション病棟41床・療養病床31床）120床へ

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	120 床	0 床	48 床	41 床	31 床	0 床
	平均在院日数	0.0 日	10.5 日	53.8 日	301.0 日	
	病床稼働率	0.0 %	83.6 %	70.0 %	85.0 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	120 床	0 床	48 床	41 床	31 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	当院の使命として、安中地区における2次救急への対応と3次救急に対する患者の選別。また、急性期治療を終えた患者に対しての回復期リハビリテーション病棟・療養病棟については、これまでと同様に行っていきたい。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	22 科（内科、外科、消化器内科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ科、循環器内科、乳腺外科、内分泌内科、糖尿病内科、呼吸器内科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、肝臓内科、眼科、麻酔科、アレルギー-呼吸器科、呼吸器外科）
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、検診、在宅支援			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、検診、在宅支援			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	富岡総合病院	群馬大学医学部附属病院
主な紹介先医療機関	安中市内の9連携診療所		

5. 当院の特徴について

特徴的な 診療の提供	<p>広く安中地区の住民から支持を得ている。外来患者数は、1ヶ月 5,000件近くとなり、内科・外科・脳神経外科・整形外科・呼吸器科・乳腺外科・眼科・放射線診断など、専門的な医師がチームを組み診療にあたっている。</p>
特徴的な 医療介護連携	<p>当院では後方ベット、つまり介護老人保健施設・ケアハウス・介護付有料老人ホームを持ち、医療から介護まで一体的な体制をつくっている。</p>

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>外科系医師の本年1名確保、令和2年4月より更に1～2名の増員が見込まれる。外科診療の充実がはかれる見込みである。内科系の医師補充、麻酔科医師の補充などを目指したい。</p>
当院の未来像	<p>本年4月、外科系若手医師が入職し一気に手術件数が増した。外科全麻手術件数、本年4月～9月まで41件。前年4月～9月まで24件である。今後さらに手術件数は増加すると思われる。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>今後さらに地域全体で、医療と介護の充実・連携をはかりたい。当院を中心に9つの診療所がチームを組み、現在も地域包括ケアの展開を行っているところである。</p>